

■ 9月の月の満ち欠けと惑星について



新月
7日



上弦
14日



満月
21日



下弦
29日

9月の天体観望会で月が見える日時は？



9/11(土)・・・19時の回で観察可



9/18(土)・・・全ての回で観察可

水星：中旬頃の日没後、西のごく低空に見える。【約0.2等】

金星：日没後、西の低空に見える。【約-4.1等】

火星：見かけが太陽に近く、観察が難しい。【約1.7等】

木星：夜のはじめ頃から未明まで見える。【約-2.8等】

土星：夜のはじめ頃から未明まで見える。【約0.4等】

※惑星の等級は中旬頃の明るさ。

科学センターで撮影した木星と土星



■ 9月のおすすめ天体

★中秋の名月（9月21日）

今年の中秋の名月は9月21日です。9月21日は満月ですが、中秋の名月と満月が同じ日になるのは8年ぶりです。それは中秋の名月の日と、満月の日とで決め方が異なるためです。中秋の名月は旧暦の8月15日で、新月の日を1日として15日目にあたります。一方満月の日は、月が地球を挟んで太陽の反対側にくる瞬間（望）を含む日付となります。月は楕円を描きながら地球の周りを回っていることや、太陽と地球の位置や月との位置関係により、公転の速度が異なります。そのため望から次の望までの周期は同じではありません。このようなことから、中秋の名月と満月は同じ日になるとは限らないのです。

さて中秋の名月の日、徳島では18時半ごろからだんだんと月が昇ってきます。秋の夜長、のんびりとお月見を楽しんでみてはいかがでしょうか。



写真1. 2020年の中秋の名月



写真2. 科学センターで撮影した M15 (by A.Suzuki)

★球状星団 M15

ペガサス座の鼻の先にM15という天体があります。星たちが集まっているものを星団といいます。M15は数十万から数百万の星たちがボール状に集まっています。星団の中でも球状星団という種類の天体です。科学センターの望遠鏡で見ると、中心に近づくと星たちが密集している様子が見られます。

球状星団は非常に古い星たちの集まりだと考えられています。しかし球状星団がどのようにできたかの過程は詳しくわかっていません。今後の研究に期待したいところですね。